

沖縄県行政運営プログラム 進捗管理表(令和2年度実績・令和3年度実施計画)

【基本方針3 財政運営】

取組分類		重点実施項目	
実施項目名	県立病院の経営安定化		
取組内容	「沖縄県立病院経営計画」に基づく取組を推進します。		
取組項目	2020(R2)実施計画	2020(R2)実績	
1	収益の確保	<p>診療報酬を確実に得るための診療報酬改定への対応、DPC分析の強化、査定・返戻の縮減等による収益の確保に取り組む。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策関連の取組】 新型コロナウイルス感染症の対応により、悪化した経営状況の改善に向けた取組を進めていく一方で、引き続き新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、経営面に与える影響を精査し、対応策を検討する。</p>	<p>令和2年度診療報酬改訂に対応して、新たな施設基準の取得や既存の施設基準のランクアップを行い、診療単価のアップに取り組んだ。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策関連の取組】 コロナ禍で患者数が減少する中、病床の効率的な運用やコロナによる診療報酬上の臨時的取扱いによる収益のアップ、地域連携強化による新規入院患者・手術患者等の確保により、県立病院としての通常医療の役割と新型コロナウイルス感染症対応の両立を図りつつ、収益の確保に取り組んだ。</p>
	活動指標	<p>入院診療単価対前年度比 101.5%以上 外来診療単価対前年度比 101.6%以上</p>	<p>入院診療単価対前年度比 109.0% 外来診療単価対前年度比 110.2%</p>
2	費用の縮減	<p>材料費等の適正化、委託業務の見直し等による費用の縮減に取り組む。</p>	<p>材料費を縮減する取り組みとして材料費縮減プロジェクトを実施し、今年度も購入価格の低廉化に取り組んだ。コロナ禍による予定手術等の延期などに伴い、手術場における診療材料の使用は減少したが、高額な抗がん剤を使用する患者は増加し、薬品費は増加している。医療収益が減少したことにより、医療材料費比率は増加した。</p> <p>また、新型コロナの感染拡大による患者対応等に伴う業務委託の増加により委託料も増加している。</p>
	活動指標	<p>医療材料比率 毎年度20.9%以下</p>	<p>医療材料費比率 22.8%</p>
3	医師の確保	<p>他の医療機関との協力連携の強化や、webサイトを通じた医師募集情報の発信、地域・離島医療確保モデル事業等の実施による医師の安定確保に取り組んだが、新型コロナウイルスの影響による移動制限で医師招聘の自粛を余儀なくされたため、上記以外に紹介会社等の活用を積極的に行った。</p>	<p>他の医療機関との協力連携の強化や、webサイトを通じた医師募集情報の発信、地域・離島医療確保モデル事業等の実施による医師の安定確保に取り組んだが、新型コロナウイルスの影響による移動制限で医師招聘の自粛を余儀なくされたため、上記以外に紹介会社等の活用を積極的に行った。</p> <p>地域・離島医療確保モデル事業により修業した医師は4名。選考医は1名であった。</p>
	活動指標	<p>地域・離島医療確保モデル事業を活用した招聘医師数 年15人</p>	<p>地域・離島医療確保モデル事業を活用した招聘医師数 6名。専攻医数2名。</p>
取組の効果	<p>年度当初は、県立病院としての役割とコロナ患者の対応の両立を図るため、診療制限や手術の制限を行ったことで、入院・外来収益共に大きく減収となったが、その中でも病院経営を維持するために、病床の効率的運用・地域連携強化による新規入院患者や手術患者等の確保・施設基準の取得などに取り組む、診療単価については向上した。</p> <p>医師確保については、コロナの影響が大きく、目標どおりの成果を上げることができなかった。</p>		

【前ページのつづき】

成果指標名	基準値	2019(R1)	2020(R2)			2021(R3)	
		実績値 (見込)	目標値	実績値	目標値からの改善幅	目標値	
成果指標	経常収支の黒字確保 (経常利益=(医業収益-医業費用)-(医業外収益-医業外費用))+過去の退職給付引当金繰入額	△740百万円 (H28実績)	1,332百万円	△1,721百万円	1,323百万円	3,044百万円	△777百万円
	投資資金の確保 (収益的収支(3条収支)の現金収支で投資資金を確保し、資本的収支(4条収支)の収支均衡を図る。)	△1,573百万円 (H28実績)	△528百万円	△2,226百万円	618百万円	2,844百万円	△1,613百万円
	手元流動性の確保 (期末現預金残高より運営費用の1ヶ月分以上を確保する。) ※期末現預金残高には、退職給付引当金を含まない	3,564百万円 (0.84月) (H28実績)	2,602百万円	5,101百万円 (1.00月)	1,000百万円	△4,101百万円	4,978百万円
推進状況	○ 順調	実績値については、決算値が未確定のため決算見込値を記載					
評価	推進状況が「順調」以外の場合はその要因						
	今後の方向性及び改善策(「順調」の場合でも記載)	<p>「沖縄県立病院経営計画」については、令和2年度に計画期間が終了したものの、新たな経営計画については新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことや新公立病院改革ガイドライン及び地域医療構想の改定など、今後の国や県の動向を踏まえる必要があることから策定を見送っている。</p> <p>今後の経営改善の取り組みについては、「沖縄県立病院経営計画」で令和4年度まで定めた経営の効率化を継続し、新型コロナウイルス感染症が経営に及ぼす影響について、医療現場との連携・情報共有を図り、県立病院としての役割を果たし経営を維持するため、より効率的な病床運用・施設基準の取得に向けた計画的な取組・算定向上チーム等による医学管理加算や指導料等の算定強化への取り組みを継続する。</p>					